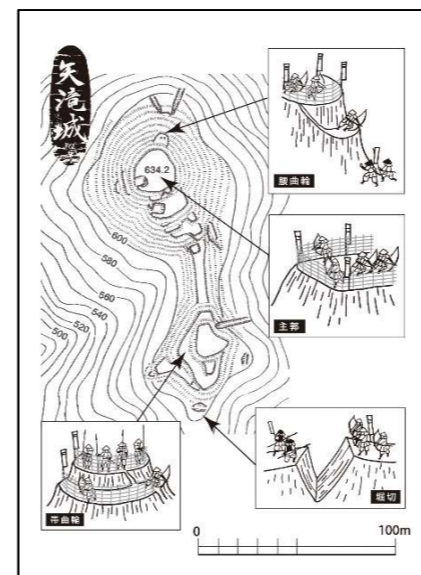


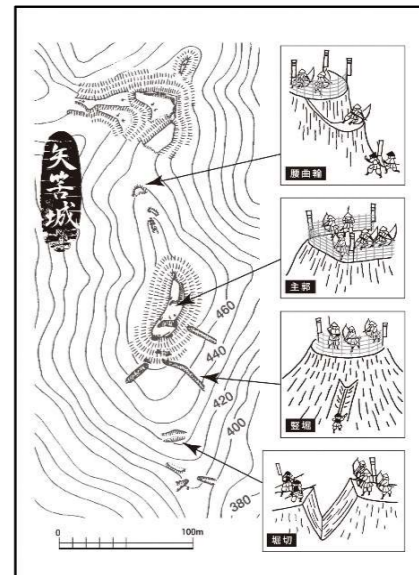
デザイン趣旨

- 【家紋】 4つの勢力が争奪戦を繰り広げた。(大内、尼子、小笠原、毛利)
- 【文字】 毛利元就でさえも攻め落とすことができなかった「不落」の城。
- 【挿画】 雲(時の流れを表現。築城された要害山は、銀山発見から戦国期、江戸、明治、大正、昭和と長きにわたり銀山の興隆と衰退を見続けてきた。)



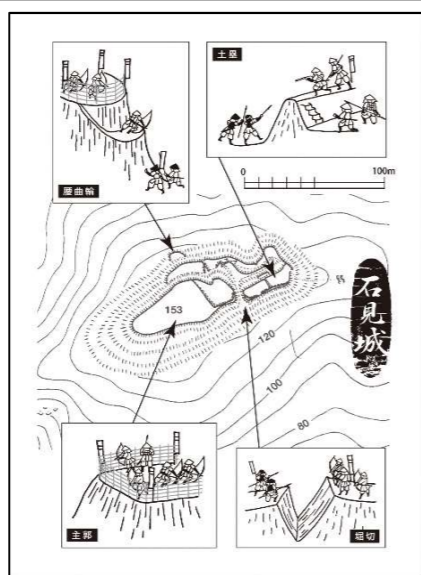
デザイン趣旨

- 【家紋】 4つの勢力が争奪戦を繰り広げた。(大内、尼子、小笠原、毛利)
- 【文字】 「一望千里」(360°パノラマ)
- 【挿画】 眼下に見える山吹城と仙ノ山



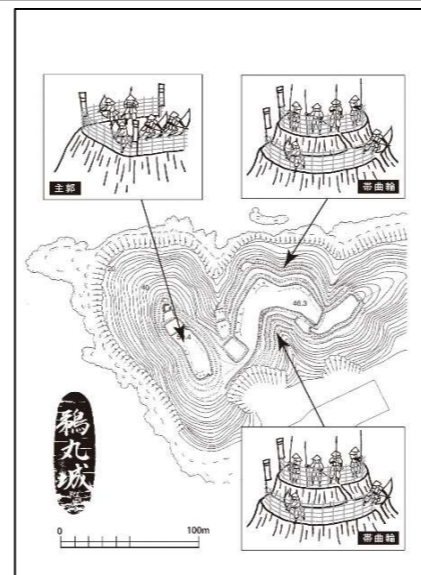
デザイン趣旨

- 【家紋】 4つの勢力が争奪戦を繰り広げた。(大内、尼子、小笠原、毛利)
- 【挿画】 矢(山容が名称の由来/双耳峰)



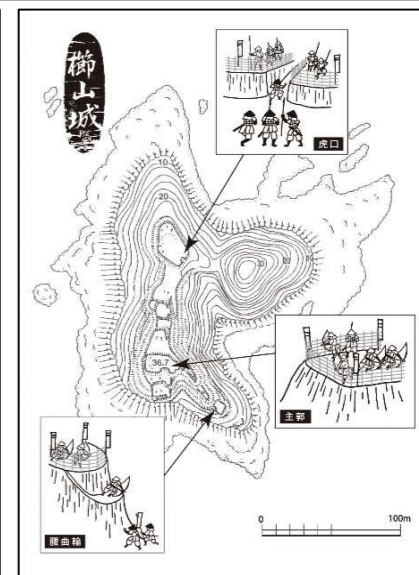
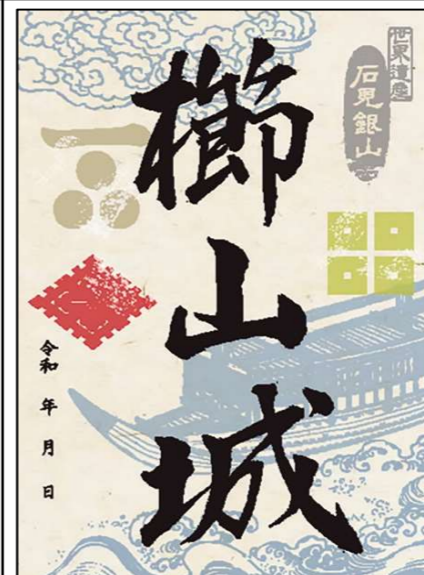
デザイン趣旨

- 【家紋】 3つの勢力が争奪戦を繰り広げた。(大内氏、尼子氏、毛利氏)
- 【挿画】 昇竜(山名由来は西斜面の岩肌が空に昇る竜の姿に見えたからと言われている。)



デザイン趣旨

- 【家紋】 毛利氏が築いた城。
- 【挿画】 安宅船(沖泊は毛利水軍の軍港の一つでもあった。)



デザイン趣旨

- 【家紋】 3つの勢力が争奪戦を繰り広げた。(大内氏、尼子氏、毛利氏)
- 【挿画】 関船(日本海を航行する軍船・商船の監視を行っていた)